



大寒に入りました、1月も後半です

3学期がスタートして2週間が過ぎました。毎日寒い日が続いていますが、昨日の1月20日は大寒でした。大寒は、季節の指標である「二十四節気」の24番目の節気で「最も寒さが厳しい時期」という意味があります。例年、1年のうちで最も気温が低くなるのがこの大寒の期間です。

その大寒の最後の日（今年は2月2日）が節分となります。「節分」は文字通り季節の分かれ目を意味し、本来は立春・立夏・立秋・立冬の前日の4日ありましたが、今「節分」と言えば立春前日のこの日を指すようになりました。

立春を1年の始まりとしていた旧暦（明治以前までは、月の満ち欠けでひと月の長さを決めていました。）では、その前日は大晦日となります。つまり現在の節分が、大晦日と同じ意味だったこととなります。大晦日に行われる追儺（ついな）といわれる鬼やらいは、悪鬼を祓うための儀式です。豆まきをして邪気を祓い春を迎える節分は、正に新しい年を迎える年越しの行事と重なります。

かつてお正月が来ると全員が一つ歳を重ねるとされた風習がありました。節分で豆まきの後、歳の数だけ豆を食べる習慣もこの風習の名残といわれています。節分が実は大晦日だったことがわかったと、新しい春を迎える大きな節目であり、大切な行事であることが改めて実感されます。

生まれた干支と重なる人は「年男・年女」として、積み重ねた年月を感じつつ自覚を新たにするとします。今年は「巳年」で2013年（平成25年）生まれの人が対象です。小学生では、6年生と5年生になります。

春夏秋冬、季節の移り変わりを、太陽の動きに基づいて分けた二十四節気は「大寒」をもってひとめぐりを終えます。二十四節気と七十二候の中にそれぞれの季節の「気」と「候」が表されています。まさに日本に自然の豊かさをもたらす「気候」と言えます。しかし、最近の日本では、春や秋の期間がすごく短くなったようにも感じます。私たちも、先人たちが歩んできたこのような季節の智慧が詰まった歳時記を大切に、季節に寄り添っていききたいものです。日々のささやかな生活の中にもきっとなんらかの発見があります。そういう意味でも、今回のような知識をお知らせする意味もあるのかなと感じています。



「あい」のある学校の風景



【3学期始業式】



【校内書初競書会】



【児童会役員選挙】

2月の主な予定

- 2月 6日（木）避難訓練（火災）
委員会・クラブ集会（5限終了後下校）
- 7日（金）岩出中学校入学説明会
- 11日（火）建国記念の日
- 13日（木）授業参観
- 14日（金）クラブ活動（4・5・6年、3年見学）
- 15日（土）愛育会・親子ドッチボール大会
- 21日（金）大なわ集会
- 23日（日）天皇誕生日
- 24日（月）振替休日
- 27日（木）6年生を送る会（5限終了後下校）
- 28日（金）お別れ遠足（6年）

行事につきましては、
諸般の事情で変更する
場合があります。



スクールカウンセラー来校日
6日・13日・20日・27日
各曜日の11時～15時

南海トラフ巨大地震 今後30年の発生確率 80%程度に

1月13日（月）21時19分頃に日向灘で地震が発生しました。昨年、8月8日（木）にも同じ日向灘で発生していることから、南海トラフ地震への影響が心配されました。今回も南海トラフ地震臨時情報が出されましたが、直接の影響はないということでした。

政府の地震調査委員会は南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率について、今月（1月）1日時点で改めて計算し、これまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げを公表しました。

1月17日、阪神淡路大震災から30年が経過しました。日頃からの地震に対する備えを強化して、私たちの防災意識を高めていくことが重要となります。各ご家庭においても、家具の固定や食料・飲料水の備蓄（最低でも3日分）を確保するよう心がけましょう。外出時に防災した際、家族でどこで落ち合うなどの決め毎も再確認しておきましょう。（8月30日号・一部再掲）

